



# 上映プログラムのご案内

## インドはボリウッド作品だけじゃない！ 映画王国インドから、俊英監督たちのショートフィルムが集合 ブリリア ショートショート シアター インドプログラム

横浜・みなとみらいのショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアター(運営:株式会社ビジュアルボイス本社:東京都渋谷区 代表取締役 別所哲也)では、“インドプログラム”を9月16日(金)から10月15日(土)の期間上映します。

映画の特徴といえば、やはりボリウッドダンス。近年、大ヒットした『スラムドッグ\$ミリオネア』は全米にボリウッドダンスを流行させましたが、今回のプログラムはダンスは一切なし。ボリウッド作品だけではないインド製作によるショートフィルム4作品のラインナップです。『フライト208』と『シャヌー・タクシー』からは、インドが抱える貧富の拡大、都市生活者の悩みなどが垣間見える作品。『殺人カメラ』、『ニューヨーク、グラント街』は劇映画として秀逸な作品です。インドの俊英監督たちのショートフィルムを堪能できます。

また、シアターカフェでは同プログラムにちなんで「スパイスカレーフェア」を開催。インド風チキンカレー、サマリンドカレーをチョイスして、女性に好評の五穀米や焼きたてのナンで味覚でもインド気分を味わえます。

※ボリウッドとは？…ボリウッドとはインド・ムンバイの映画産業全般につけられた非公式な名称。ムンバイの旧称「ポンペイ」の頭文字「ボ」と、アメリカ映画産業の中心地「ハリウッド」を合わせてつけられた。

### ピックアップ作品



『Black and White』  
(カーシク・スバラフ・ガジャラフ / インド / 2010 / 9:19 / スリラー)

【あらすじ】  
プレゼントでヴィンテージカメラを受け取ったフォトグラファー。  
だが、それがもとで奇怪な事件が発生する。  
見ている者を恐怖に陥れるそのカメラの力とは…。  
すべての色が消え去ったかのような感覚に引き込まれる、戦慄の物語。

【上映歴】  
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011



6月に開催されたショートショート フィルムフェスティバル & アジア2011、Q&Aの様子

「普段はエンジニアをしているんだ。映像は独学で学んで、今まで14本の作品を制作したよ。  
この作品は冒頭にもセリフとして登場する写真家の  
テッド・グ ラントの“モノクロ写真は魂を写す”という言葉から  
大きなインスピレーションを受けたんだ。  
ある意味、撮影監督も写真家ということになるんだけど、  
写真を撮ることによって命を奪うことのできるカメラがあつたら  
どうなるのか？そんなことがきっかけでこの作品を作りました。  
次はファンタジーを撮ってみたいな。」

(右)カーシク・スバラフ・ガジャラフ監督



## 『フライト208 / Flight 208』

(Parvez Imam / インド / 2006 / 5:33 / エクスペリメンタル)

### 【あらすじ】

空間と時を越え、国も文化も異なる200人以上の人々の間を旅する5分間。私たちの人生の速度と死の意味を映し出す。

夢、信念、独り言…

今まで聞いたことのないような不思議な旅が始まる。

### 【上映歴】

ニューデリー・フリンジ・フェスティバル 2006 (インド)

カーニバル・オブ・クリエイティビティ 2006 (インド)

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2007



## 『シャヌー・タクシー / Shanu Taxi』

(Vasant Nath / インド / 2006 / 15:12 / ドラマ)

### 【あらすじ】

シャヌーは、3年間ムンバイで、さえないタクシー運転手生活を送ってきた。ある夜、客の忘れ物の高価な携帯電話を届けたシャヌーは、御礼にその携帯電話をプレゼントされる。

3年もの孤独な都市生活を続けてきたシャヌーにとって、これはきっと自分自身と家族への大きなチャンス。

### 【上映歴】

カラチ国際映画祭 2006 (パキスタン)

アジアナ国際短編映画祭 2006 (韓国)

クレモンフェラン国際短編映画祭 2007 (フランス)

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2007



## 『Black and White』

(Karthik Subbaraj Gajaraj / インド / 2010 / 9:19 / スリラー)

### 【あらすじ】

プレゼントでヴィンテージカメラを受け取った fotografer。

だが、それがもとで奇怪な事件が発生する。

見ている者を恐怖に陥れるそのカメラの力とは…。

すべての色が消え去ったかのような感覚に引き込まれる、戦慄の物語。

### 【上映歴】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011



## 『ニューヨーク、グラント街 / Grant St. Shaving Co.』

(Payal Sethi / インド / アメリカ / 2010 / 14:44 / ドラマ)

### 【あらすじ】

先妻から最初の記念日に贈られた、お気に入りのひげ剃り。

買い換えどきが来たため、男はそのひげ剃りを買った店を探しに

ニューヨークの街へ向かう。親切な配達員に案内してもらうが、

行く先々で妻との思い出が男の記憶によみがえって…。

### 【上映歴】

サウス・アジアン国際映画祭 2010 (アメリカ)

サンフランシスコ国際アジア・アメリカン映画祭 2011 (アメリカ)

サンフランシスコ国際女性映画祭 2011 (アメリカ)

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011

## 上映情報

■上映時間:9月16日(金)~10月15日(火)  
10:30~11:30 / 13:10~14:10 / 15:50~16:50 / 18:30~19:30

### ■劇場

ブリリア ショートショートシアター (HP: <http://www.Brillia-SST.jp/>)  
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい5丁目3番1 Filmee 2F

### ■アクセス みなとみらい線

「新高島駅」徒歩5分  
「みなとみらい駅」徒歩6分

※火曜日休館日

※イベント実施により、上映時間が変更になる場合が御座いますので事前にHPでご確認頂くか、  
シアターへお問合せください(TEL:045-633-2151)

■チケット 大人・学生 ￥1000／小人(3歳～中学生) ￥800  
シニア(60歳以上) ￥800／ハンディキャップ(付き添いの方1名まで同額) ￥800

### ■チケット販売 上映日の1週間前より販売

■購入方法 鑑賞希望日の1週間前より、シアター窓口、シアターWEB、QRコードより販売  
※WEB、QRコードからの購入は、上映の2時間前までとなります



チケット購入専用  
QRコード

## ブリリア ショートショートシアターとは



当シアターは、日本初の映画祭と連動したショートフィルム専門の映画館として、2008年2月に、横浜・みなとみらいに誕生。1プログラムは60分で、4~6本のショートフィルムで構成されています。通常のプログラムでは、世界中から選りすぐりのショートフィルムを集めており、米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」で上映されたコンテンツも上映。国際映像文化事業としても注目を集める、ショートフィルムの活性化、世界にも通じる高いレベルの映像作品を皆様と共有したいという考え方のもと、若手クリエイターへの支援も含め、横浜・みなとみらいからショートフィルムの魅力を発信しています。

### ■ 取材・画像・映像素材提供・各種お問い合わせ先 ■ 株式会社ビジュアルボイス

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8 SSUビル4F

【オフィス】TEL:03-5474-8844 FAX:03-5474-8202

【シアター】TEL:045-633-2151 FAX:045-633-2156

E-mail: [press@shortshorts.org](mailto:press@shortshorts.org)

担当:高橋・川村